

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年10月25日（木）

NO. 904号

本号3頁

10・24自民党改憲案国会提出反対！辺野古新基地建設は断念を 共謀罪法廃止！臨時国会開会日行動！

国会開会日の24日、お昼に衆議院第2議員会館前で「10・24党改憲案国会提出反対！辺野古新基地建設は断念を 共謀罪法廃止！臨時国会開会日行動」が開催されました。

集会は、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」、「共謀罪NO！実行委員会」の3者の共催で開催され、1200人が参加しました。

駆けつけた立憲民主党の江崎孝参院議員、国民民主党の藤田幸久参院議員、共産党の小池晃参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員、無所属の柚木道義衆院議員が挨拶しました。日本共産党から多数の衆参国會議員が参加しました。

小池議員は、沖縄の選挙での3連勝にふれ、「安倍政権は、辺野古新基地建設中止、普天間基地閉鎖の対米交渉を始めよ」と強調し、改憲、消費税10%増税を許さないと述べ、「市民と野党の本気の共闘で、自公・補完勢力を少数に追い込もう」と訴えました。

その後、主催者あいさつがあり、そして、市民団体から共謀罪NO実行委員会の海渡雄一さん、生かせ！9条松戸ネットの麻場文雄さんがスピーチしました。海渡弁護士は、共謀罪法が強行成立し、その後政府による市民活動の監視と威圧がじわじわと私たちの身近なところにも忍び寄っていると指摘し、引き続き共謀罪法の廃止に向けた運動を呼びかけました。また、松戸の麻場氏は、松戸での3000万人署名のとりくみを報告し、3000万人を達成し、安倍9条改憲を阻止すると決意を語りました。



10・24 共謀罪の適用を許さない！院内集会 開催

「共謀罪廃止のための連絡会」の主催で、「共謀罪法の適用を許さない！」院内集会が、24日（水）の午後13時30分から15時まで、衆議院第二議員会館第三会議室で開催されました。

駆けつけた立憲民主党の山尾志桜里衆院議員、沖縄の風の糸数慶子参院議員、社民党の福島瑞穂参院議員があいさつ。山尾氏は、警察に共謀罪法での捜査等の実態を報告させたところ、集会前に0だったとの報告があったと紹介し、共謀罪法の廃止と適用させないたたかいを強めようと訴えました。

次に、「関西生コン不当逮捕事件をめぐって」とのテーマで、弁護士の海渡雄一氏が報告しました。大阪でストライキを行った関西生コンの幹部と組合員が「強要」「業務妨害」を理由に逮捕される事件について、この事件をたたかっている地元の弁護士の説明を紹介し、事件は「共謀罪適用のリハーサル弾圧」だと指摘し、詳細に報告しました。話を聞いて、目には見えませんが、政府による市民活動の監視と威圧がじわじわと私たちの身近なところにも忍び寄っている危険性を感じました。

報告後に、総がかり行動実行委員会の高田健氏が「連帯を強め、共謀罪法を廃止しよう。臨時国会では自民党の改憲案の提示を阻止しよう」と連帯のあいさつを行いました。

そして、「共謀罪対策弁護団事務局長の三澤麻衣子弁護士が「共謀罪法の適用を許さないために」とのテーマで講演しました。

三澤氏は、「現在、共謀罪の捜査そのものの存在は明らかになっていない。しかし、共謀罪型捜査、監視型捜査は共謀罪の成立前後からおこなわれつつある」と指摘。市民運動家の情報を警察が収集し、大企業に情報提供していた大垣市民監視事件等の具体的事例を示し、危険性を報告しました。そして、万が一検挙があったら、共謀罪対策弁護団とともにたたかおうと呼びかけました。

◆資料 「共謀罪廃止のための連絡会」の構成メンバー

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン/国際環境 NGO FoE Japan/自由人権協会/女性と人権全国ネットワーク/日本消費者連盟/日本マスコミ文化情報労組会議/反差別国際運動/ピースボート/未来のための公共/共謀罪法案に反対する法律家団体連絡会/共謀罪対策弁護団/共謀罪 NO！実行委員会/戦争させ・9条壊すな！総がかり行動実行委員会



安倍首相、所信表明演説で、改憲意欲表明

安倍首相は24日午後の衆参両院本会議の所信表明演説で、改憲への意欲を改めて表明、自民党案を衆参両院憲法審査会に示す考えを表明しました。

「国の理想を語るものは憲法です。憲法審査会において、政党が具体的な改正案を示すことで、国民の皆様の理解を深める努力を重ねていく。そうした中から、与党、野党といった政治的立場を超え、できるだけ幅広い合意が得られると確信しています」

さらに、所信表明では、来年10月の消費税率10%への引き上げを、同時に経済対策として幼児教育の無償化実施をあげ、予定通り実施する考えを改めて表明。また、若者から高齢者まで全世代にさらなる激痛を与え、国民の生存権を脅かす「全ての世代が安心できる社会保障改革」をすすめると表明。国民いじめの暴走政治を引き続き推し進める方針です。さらに、対米、対ロでも外交的失態、屈辱外交を繰り返し、破綻しているにも関わらず「戦後日本外交の総決算」を残り任期の課題に挙げました。

安倍首相 改憲強行シフトで、改憲に挑む

この間、安倍首相は総裁選3選を受けての自民党役員人事で、党憲法推進本部長に下村博文氏、総務会長に加藤勝信氏、選対委員長に甘利明氏を起用。さらに、憲法審査会の筆頭幹事に「ウルトラ右翼」の新藤義孝氏を充てるなど、強行路線をとることが懸念される露骨な改憲強行シフトを敷きました。そして、記者会見で、憲法9条などの改正案を臨時国会に提出するとの総裁選公約について「力強い支持を得た」と述べ、臨時国会への憲法改正案提出の意志を示しました。

それに対する、国民の「臨時国会に提出すべきでない」との多数の声に、憲法審査会に改憲4項目を「提出」から「提示」すると変わったものの、自衛隊の観閲式では、政治的中立が最も厳しく求められる実力組織を前に、9月の自衛隊高級幹部合同に続き、9条改憲への執念を示す、憲法の平和主義と憲法尊重義務違反する訓示を行いました。

そして、上記のように、臨時国会で自民党案を衆参両院憲法審査会に示すとの考えを示しました。

このようなもとの、私たちの臨時国会のたたかいは、自民党の改憲案を憲法審査会に「提示」させないことです。国民投票法の改定について論議される憲法審査会で、自民党は「自由討論」で「提示」する考えのように思いますが、それを許してはなりません。お昼の集会には国民民主党を代表して藤田幸久参院議員が参加しましたが、国民民主党を含めた野党共闘、市民と野党の共闘を強め、何としても「提示」させないたたかいを強めましょう。

各地のとらきみ

青森・八戸 32人が参加し、スタンディングアピール

八戸市の三日町交差点で19日、戦争法廃止と「安倍9条改憲NO!」を市民に呼び掛けるスタンディングアピールが行われました。

主催した「戦争法廃止を求める三八連絡会」の呼びかけに応え 32 人が参加し、手にプラスタ―やのぼりを掲げ、「ウソと隠ぺい、改ざんの『安倍政治は許さない』と訴えました。

リレートークで訴えた、新日本婦人の会・八戸支部の中屋敷和子さんは、「これまで日本は憲法 9 条を守って戦争には参加しませんでした。しかし 9 条に自衛隊を書きこまれたら、アメリカと一緒に海外で戦争することが憲法によって認められることになってしまう」と語り、3000 万人署名への協力を呼びかけました。

札幌 手がかじかむ寒さの繁華街で、350 人が「改憲阻止」とコール響かす

「憲法 9 条改悪は許さない」と戦争をさせない北海道委員会は 19 日、総がかり行動を繰り広げました。手がかじかむ寒さの札幌市の繁華街。350 人が「食と命を守ることが国の力をのばすこと」の横断幕や「改憲阻止」「ADE OUT」のプラカードを握りしめ、「憲法を大切にしたい」「9 条守れ」と夜空にコールを響かせました。

白石区の久松洋一さん（75）は「辺野古新基地を造るのは民意をほごにするもの。国民の意見を全く聞かない、聞こうとしない安倍政権は許せない」と話しました。

「沖縄の県知事選挙では大差で玉城デニーさんが当選し、新基地反対の民意が明らかになりました」と訴える北海道平和運動フォーラムの長田秀樹代表は、「辺野古新基地埋め立て承認撤回は、身内の国土交通省に申立てる姑息なやり方です。法治国家で断じて許されない」と力を込めました。

日本共産党の畠山和也前衆議院議員も参加し、デモに加わり、大きな声でコールしました。

静岡・浜松 20 人で横断幕等を持ち「9 条改悪絶対反対」などとアピール

浜松市の「戦争させない・9 条壊すな！浜松総がかり行動」は 19 日、戦争法廃止、安倍 9 条改憲反対を訴える宣伝行動を J R 浜松駅前で行いました。

約 20 人が参加し、横断幕やプラカードを持ち「9 条改悪絶対反対」「戦争法は今すぐ廃止」「安倍政権は今すぐ廃止」などとコールしてアピール。じっと見つめる人やスマホのカメラで撮影する反応がありました。

事務局の松村幸久氏がマイクを握り、「日本は世界に誇る憲法 9 条を持っている。侵略戦争を正当化する安倍首相が改憲を狙っている。9 条を守り、子どもたちに平和を手渡そう」などと訴えました。

手を振って応援した女性（50）は「私の周りはみんな安倍政権が嫌い。沖縄で強権的に米軍基地をつくるなんて、絶対に許せない。野党が力を合わせて安倍政権を倒してほしい」と話していました。

岐阜 100 人以上が参加し、「安倍 9 条改憲 NO！マラソン宣伝署名」

岐阜市で 19 日夕、各団体がリレーでつなぐ「安倍 9 条改憲 NO！マラソン宣伝署名」が行われ、100 人以上が参加しました。主催は「戦争させない・9 条壊すな」岐阜総がかり行動実行委員会。

名鉄岐阜駅前で先陣を切った「憲法 9 条を守る岐阜県共同センター」の行動には、竹中美富夫事務局長、稲垣豊子新婦人県本部長、高木光弘参院選選挙区候補らがマイクを握り、「朝鮮半島で非核化の流れが始まっているのに、戦争する国づくりへ突き進む安倍政権は絶対に許してはならない」と訴えました。

女子高校生（16）2 人組は「学校の授業で沖縄戦を学びました。戦争は怖いし、絶対にやってはならないと心から思いました。戦争する憲法に変えることは反対です」と笑顔で署名しました。若者のグループが次々と署名に応じていました。

愛媛 「安倍 9 条改憲阻止」等のスローガンを掲げた愛媛中央集会開催！

「安倍 9 条改憲阻止」「辺野古新基地建設中止」などのスローガンを掲げた愛媛中央集会が 19 日、松山市で開かれ、約 90 人が参加しました。10 月 21 日の「国際反戦デー」に連帯した集会で、安破棄県実行委員会などをつくる実行委員会の主催です。

中尾真実行委員長は北朝鮮の核ミサイル開発をめぐる軍事的緊張が高まった今年の集会から一転し、平和への動きが強まっていると指摘。「この大きな変化を、どう捉え、運動を強めるか・しっかり学んで決起の場に」と呼びかけました。

日本共産党の川田忠明平和運動局長が「非核・平和の北東アジア 課題と展望 大破綻の安倍政治から新たな政治へ」と題して講演しました。